

令和7年度「1年保健」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
保健		必修	1	共通
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習目標

「現代社会と健康」では、健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について、「安全な社会生活」では、安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。

2 学習概要

教科書に沿って授業を進め、日常生活の事柄や新聞記事などを資料とし、話題を広げていきます。単に知識だけではなく、心身の健康の保持増進を図るための実践力を育成します。

3 学習方法

(1) 授業への取組

教室での講義が中心です。ときには動画視聴、レポートの作成やグループ討論など適宜取り入れます。学んだ事柄を自分自身にあてはめて考えながら、授業に取り組んでいきましょう。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能(①)」、「思考力・判断力・表現力(②)」、「学びに向かう人間性(③)」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査（期末考査、学年末考査）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②、③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能(①)	思考力・判断力・表現力(②)	学びに向かう人間性(③)
評価基準	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康及び安全な社会生活について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているとともに、応急手当や心肺蘇生法などをその知識をもとに実践することができる。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断して、表現することができる。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい(内容のまとめごと)	考査等
一学期	2単元 安全な社会生活 20. 事故の現状と発生要因 21. 安全な社会の形成 22. 交通における安全 23. 応急手当の意義とその基本 24. 日常的な応急手当 25. 心肺蘇生法	安全な社会を形成するには、事故等の防止に加え、発生に伴う傷害などを軽減することが重要である。そのためには、事故等の発生には人的要因および環境要因がかかわることを踏まえ、個人の取り組みに加えて社会的な取り組みが求められることを理解するとともに、危険の予測やその回避の方法を考えることができるようにする。	期末考査 ノート提出
二	1単元 現代社会と健康	わが国の疾病構造や社会の変化に対応し	期末考査

<p>学 期</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 	<p>て、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること、および環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>ノート提出</p>
<p>三 学 期</p>	<ol style="list-style-type: none"> 11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択 19. 健康に関する環境づくり 		<p>学年末考査 ノート提出</p>